

二〇二六年度 群馬大学共同教育学部 学校推薦型選抜問題  
国語専攻

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を含め二枚、解答用紙は一枚、下書用紙は一枚です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には申し出てください。
3. 受験番号と氏名は全ての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
4. 解答は指定の解答用紙に記入してください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 問題用紙と下書用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読んで後の問に答えなさい。

## 著作権保護のため、掲載不可

出典…朴沙羅 「日本語／フィンランド語は難しい」？ 文化を語るとき潜む「前提」とは  
朝日新聞 二〇二五年一月一六日付け 朝刊 「欧州季評」 ※ 出題の都合上、一部に修正を加えている。

問 何かを語るときに、その何かの内部にある「多様性」を無視したり、他のものとの「序列と差別」から考えたりすることが前提になるという筆者の主張についてどう考えるか。あなたの知る具体的な出来事や事柄を例に挙げて論じなさい。（六〇〇字以内）